

# 静岡県 JA遠州夢咲 トマト委員会



設立年次	平成14年6月
委員会員	62名
経営概要等 (栽培面積、年間売上高、品目)	16.2ha 6.2億円 大玉トマト、濃縮トマト
実践GAP	しずおか農水産物 認証制度

## GAPに関する主な取組

- ・委員会員による栽培履歴の記帳(薬剤散布、栽培管理等)、衛生管理及び異物混入対策マニュアルの実践。
- ・支部単位での内部検査の実施。

## GAP導入に至った経緯

1. 消費者の農産物の安全・安心に対する関心に応えるため、何らかの認証取得が必要という意見が委員会の若年層から出された。
2. 各種認証制度の勉強会を開き、総合的な取組みが必要とされるGAP(しずおか認証)制度を取得することを委員会として決定した。

## GAP導入に関する工夫等

項目	工夫や苦勞した点
合意形成・体制整備	・役員と若年層による認証制度の勉強会を開き、全委員会員にGAP(しずおか認証)の必要性を認識してもらうため、支部ごとに説明会を実施。
(Plan)点検項目・管理台帳の作成	・委員会内にしずおか認証検討部会を組織し、点検項目、履歴等管理台帳の様式を作成。
(Do)実践・記録	・委員会員個々による栽培履歴の記帳。衛生管理マニュアルの実践。
(Check)点検・評価	・支部単位のほ場巡回時に委員会員相互による内部検査を実施。
(Action)改善	・内部検査終了後、しずおか認証検討部会で課題の把握と改善策の作成。

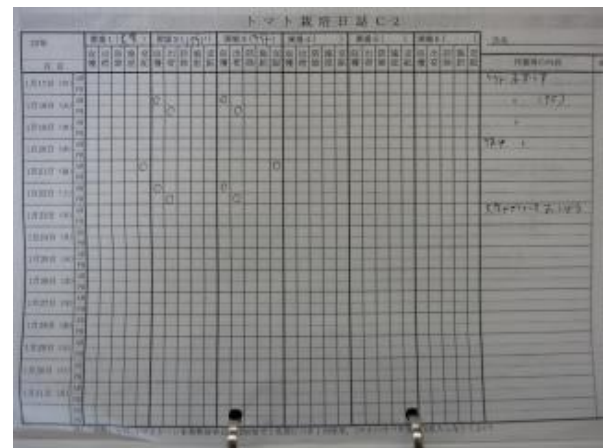


## GAP実践にあたり重視する事項

項目	重視する事項
全般	・取組みに対する委員会員個々の意識の統一。
食品安全	・衛生管理・異物混入防止マニュアルの適正運用のための点検と改善。
環境保全	・夢咲トマト施肥設計の遵守。
労働安全	・農機具・機械の点検マニュアル作成。

## GAP導入により改善した点もしくは今後改善が見込まれる点

項目	内容
収穫物の収量・品質	・栽培管理記録を集積し、品質・収量の向上に活用していく。
コスト削減	・資材の使用基準の遵守により、過剰投入による費用増大を抑えている。
労働力	・記録・点検により作業分担が明確になったため、効率的な時間配分が可能となった。
食品安全	・事故やクレームの発生率が減る。
環境保全	・必要最小限で適正な農薬の使用の徹底。
労働安全	・農機具・機械等による事故の減少。
その他	・GAPの取組みを広げていく。



### 実践者からのコメント

- ・生産管理工程において、衛生管理等今まで至らなかった点が明確化され、その改善によって、適正な管理が出来るようになった。
- ・生産履歴等の集積によって、委員会同士の情報交換がスムーズに行われるようになった。